

平成29年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成30年 4月 9日
研究・研修課題名	臓器提供個別勉強会と臓器提供セミナー
研究・研修組織名 (所属)	院内移植コーディネーター (所属：医療サービス課)
研究・研修責任者名 (所属)	錦織千枝 (医療サービス課)
共同研究・研修実施者名 (所属)	

目的及び方法、成果の内容

① 目 的

院内移植コーディネーターは、7年目を迎えた平成29年度、月1回の勉強会で、島根県移植コーディネーターを交え、個別勉強会、脳死下臓器提供マニュアルのシミュレーション（連絡体制中心）、臓器提供セミナーを計画する。院内移植コーディネーターとして、第53回日本移植学会総会（旭川市）に参加し、幅広い知識を得て、院内の体制、臓器移植推進に努める。

② 方 法

島根県移植コーディネーターを交えた個別勉強会の開催。
中四国地区から講師2名を迎えた臓器提供セミナーの開催。
脳死下臓器提供マニュアルのシミュレーション（連絡体制中心）の実施。
第53回日本移植学会総会（旭川市）に参加し、各施設の取り組みについて新たな情報を得た。

③ 成 果

島根県移植コーディネーターを交えた個別勉強会を月に1回開催し、この中で脳死下臓器提供マニュアルの見直し、ポケットマニュアル用シール（初動対応簡易マニュアル）の作成、心停止下臓器提供マニュアルの新規作成のための検討を行った。また、専門分野での見識を得るため、小児科、高度外傷センター、ICU、検査部、事務からメンバーを増員した。
講師を迎えてのセミナーについては講師の都合が合わず計画段階で中止した。
本学での脳死下臓器提供マニュアルのシミュレーションの実施の参考とするため、自治医科大学で計画された、脳死下臓器提供シミュレーションの見学派遣を新たに計画したが、急遽中止になったため、実際の脳死下臓器提供の対応について見学を行い、貴重な情報を入手することができた。
第53回日本移植学会総会（旭川市）に参加し、各施設の取り組みについて新たな情報を得た。